

2016.11.27.(日)第12回剣道ライオンズ少年剣道大会が中野区中野体育館で開催された。参加者は、過去最高の974名が都内各所より集まった。

本大会は、12年前中野区内の一大会という位置づけで始まり参加者も500名前後だった。近年国際的な剣道ブームで都内各地域から参加の申し出があり、現在では1,000人規模となり参加者も多く、競技レベルも高い大会となった。開会式、選手宣誓のあと「礼に始まり礼に終わる」剣道精神に満ち溢れた熱戦が開始された。背筋の伸びた少年少女剣士の試合に臨む姿が印象的だ。

大会を運営するメンバーは、みな剣道の有段者で月二回の例会うち一度は、練習会を行い自身の技術の向上と審判の腕を磨いている。「今後は全国のライオンズへ同様の少年大会を広げていきたい」と会長L中村福儀は語った。剣道というスポーツを通じて仲間が集まりクラブが結成されている点は特徴的。様々なスポーツを中核としたクラブ結成、運営などでお手本になる点が多くあり、これからのライオンズの発展性を感じる大会であった。

主催：東京剣道LC、後援：東京しいの木LC、東京赤坂LC、中野区剣道連盟、東京中野LC、協力：江戸川区、葛飾区、渋谷区、新宿区、杉並区、世田谷区、三鷹市、中央区の剣道連盟。

レポート) 広報情報委員会



開会式前の乱打



会長挨拶



選手宣誓



試合開始



試合の様子



気になる組み合わせ



参加選手は 974 名と過去最高を記録